

 J-StarX JETRO

UK Impact Accelerator Programme

応募締め切り：2026年8月31日(月) 13:00 (JST)

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問い合わせ先
- 10 | 参考



01 OUTLINE | コース概要

目的

欧州進出を目指すインパクト分野のスタートアップが、英国および欧州市場を理解し、市場参入戦略を策定する。また、英国での現地プログラムを通して、資金調達や販路開拓などに資する現地のエコシステムとのネットワークを構築し、具体的な市場参入の足掛かりを築く。

| | |
|---|---|
| 1 | 英国および欧州市場や規制に関する理解・市場参入戦略策定 |
| 2 | 現地エコシステム関係者とのコネクション形成 |
| 3 | パートナーシップ、資金調達、PoC等の市場参入に向けたロードマップを具体化する |

派遣先

英国

主な対象

| | |
|---------------|--|
| 対象企業 | インパクト分野の日系スタートアップ |
| マイルストーン 分類 | Scaler |
| ステージ | シリーズA,B |
| 分野 | プラネタリーウェルビーイング & サステナビリティ、ヒューマンウェルビーイング、ソーシャルウェルビーイングなど（詳細はP12を参照） |
| その他 | <ul style="list-style-type: none">• 実証済みの技術または初期製品があること• 英国での事業展開や資金調達を検討していること• ビジネスレベル以上の英語力を有すること |



WE AT Challenge 2026との連携

本プログラムは、日本のインパクト投資エコシステムの発展を目指し、ジェトロがパートナー機関を務めるWE AT主催の[WE AT Challenge 2026](#)と連携して実施します。



< WE AT Challenge 2026との主な連携内容 >

① WE AT Challenge 2026内での「BRIDGE UK AWARD POWERED BY BGV & JETRO」の設置。

② 「BRIDGE UK AWARD POWERED BY BGV & JETRO」に選定されたスタートアップ1社に対して、本プログラム内で英国に渡航する際の費用（1回）をWE ATが支援*。

WE AT Challenge 2026との連携

③ 過去のWE AT Challenge受賞者が、本プログラムに応募する場合に加点して評価を実施。

* BRIDGE UK AWARD POWERED BY BGV & JETROの受賞者には、本プログラムのPhase2選定審査において大幅な加点が与えられます（ただし、Phase2への採択は、Phase1の参加状況などを踏まえた総合的な判断になる点、ご了承ください。）

*過去のWE AT Challenge受賞者とは、WE AT Challenge 2024・2025において、各TrackのファイナリストとしてWE AT AWARDを受賞したスタートアップを指します。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像

本プログラムは2段階のフェーズで構成され、フェーズ2への参加企業はフェーズ1の参加企業より再度選考を実施。

1 Phase1 – 英国市場の理解



東京プログラム&オンライン講義 (10-15社)

- 東京にてキックオフセッションとラップアップセッションを実施。
- 約6週間のプログラムを通して、英国・欧州のインパクト市場の概況や、インパクト投資家へのピッチ手法等を学び、市場参入計画の策定や収益化に向けた道筋を明確化する。

選考

2 Phase 2 – 市場参入戦略策定



個別メンタリング&英国渡航 (6-8社)

- 約3か月の個別メンタリングを通して、ピッチのブラッシュアップや顧客や投資家とのマッチング等を行い、市場参入戦略を具体化する。
- プログラムの最後に英国現地に2週間渡航し、ワークショップやネットワーキングイベントへの参加、現地のエコシステムを訪問。

1 Phase1 | 英国におけるインパクト市場の理解

英国のインパクト市場参入に向けた基礎知識を習得するオンライン講義を実施。プログラムの最初と最後に東京でのオンサイトセッションも予定。

| | |
|----|---|
| 定員 | 10-15社 |
| 日程 | オンラインセッション：10月～11月（6週間） 東京キックオフプログラム：10月13日(火)予定 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">• オンラインセッション<ul style="list-style-type: none">• 英国及びヨーロッパのインパクト投資市場• インパクト創出と企業価値向上の両立 (Impact as a source of value)• セオリー・オブ・チェンジの策定• インパクトKPIの測定• インパクト投資家への対応• 英国および欧州における流通チャネルおよびパートナーシップ戦略• 東京キックオフプログラム（10月13日(火)予定）<ul style="list-style-type: none">• Get to Know Youセッション（初回顔合わせ・アイスブレイク）• Founder Confidential Discussion with BGV• 東京ラップアップ（11月30日(月)予定）<ul style="list-style-type: none">• プログラムの振り返り、学びの共有 |

※プログラムの実施内容・形式等は変更になる可能性があります
※全日程、使用言語は英語となります

2 Phase2 | 英国市場への参入準備

個別のオンラインメンタリングを実施。プログラムの最後には英国に渡航し、現地エコシステムとのネットワーク構築を目指す。

| | |
|----|--|
| 定員 | 6-8社（フェーズ1 参加企業より選考） |
| 日程 | オンラインメンタリング：2026年12月～2027年3月 英国渡航：2027年3月 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">• オンラインメンタリング<ul style="list-style-type: none">• 投資家に向けたピッチやストーリーテリングのブラッシュアップ• 顧客や投資家とのマッチング• 必要な検証事項の特定（プロダクト・マーケット・フィット等）• セオリー・オブ・チェンジやインパクトKPIの策定• 市場参入に向けたロードマップの明確化• 英国渡航<ul style="list-style-type: none">• オンラインセッションの振り返り• ワークショップ• Founder Confidential• 英国でのビジネス展開：商習慣と販売戦略• 基調講演• 投資家や顧客とのネットワーキングイベントやディナー• ピッチイベント• エコシステム訪問• Showcase |




※プログラムの実施内容・形式等は変更になる可能性があります
※全日程、使用言語は英語となります

BGV

Bethnal Green Ventures

Europe's leading tech for good VC

<https://www.bethnalgreenventures.com/>

-  社会的インパクトを重視するスタートアップへの投資件数208件
-  2012年以降、28件のアクセラレータープログラムを実施
-  投資先企業を通じて、2,200万人の生活に良い影響を創出

Bethnal Green Ventures (BGV) は、社会課題の解決に取り組むテクノロジー企業 (Tech for Good) への投資を先駆けて行ってきたベンチャーキャピタルであり、初期資金とハンズオン支援を組み合わせることで、人々の健康、包摂性、持続可能性の向上に貢献する企業を支援。

- ・2012年に英国で初めてTech for Good分野に投資するVCとして設立
- ・Fairphone、Aparito、Second Nature、Talklife、DrDoctorなど、数百万人に利用される企業への初期投資家
- ・2015年、英国で初めてB Corp認証を取得したVC

BGVは、政府機関や企業向けにカスタマイズされたプログラムの運営において10年以上の実績を有する。参加者からの評価も非常に高く、2025年に実施したプログラムではネット・プロモーター・スコア (NPS) 94を記録している。

BGVは欧州における初期のインパクト投資家の一つとして、インパクト投資ネットワークの中心的な存在である。100以上のVCと連携し、インパクト重視のエンジェル投資家やファミリーオフィスと共同投資を行っている。また、ポートフォリオ企業および創業者ネットワークを通じて影響力を拡大しており、英国全体で300人以上の創業者・オペレーターとつながりを有している。

プログラム運営メンバー



Paul Miller, Managing Partner, Bethnal Green Ventures
Bethnal Green VenturesのManaging Partner兼CEOを務める。
2012年に同社を共同創業し、これまでに200社以上のスタートアップに投資してきた。インパクト投資およびアーリーステージのテックスタートアップ支援の分野における専門家として知られている。



Darren Cockburn, Venture Partner, Bethnal Green Ventures
過去30年にわたり、大手メディア企業およびテクノロジースタートアップにおいて、財務、戦略、オペレーション分野での経験を有する。また、これまでに5回のエグジットを経験したNED（社外取締役）／アドバイザーとしても活動している。BBCではCOOを務めたほか、複数のスタートアップでもCOOを歴任している。



Dama Sathianathan, Partner, Bethnal Green Ventures
英国および欧州における「Tech for Good」およびインパクト投資分野の第一人者であり、多様で有望な創業者への投資拡大を提唱している。インパクトエコノミー分野で13年以上の経験を有し、世界最大規模のインパクト／ESG志向の投資家およびLPコミュニティであるReframe VenturesのSteering Committeeメンバーも務めている。

メンター(例)

Bethnal Green Venturesは、豊富なベンチャーパートナー、メンター、投資家パートナーのネットワークを活用し、各種セッションの提供および参加企業への支援を行う。

Dhevesh Mewawalla
Founder
Octopreneur



シード期からシリーズA段階のインパクト志向スタートアップ（ARR約50万～500万ポンド）を対象に支援を行っている。金融・銀行分野でのバックグラウンドに加え、Go-to-Market戦略の経験を活かし、持続可能かつ収益性の高いビジネスの構築に取り組んでいる。

Amy Manning
Managing Director
Amity Consulting



ソーシャルケア分野でキャリアをスタートし、その後、精神保健法に基づく評価チームの編成をより迅速かつ容易にするアプリ・ウェブサービス「S12」を創業・開発した。S12は2021年にVitalHubにより買収されている。

Eleanor de Kanter
Serial Entrepreneur



Innovate UKの支援を受けたESG年金スタートアップの元創業者であり、マネジメントコンサルティングやロンドン2012オリンピック、さらに2社の創業を通じて幅広い経験を有している。また、1億5,000万ポンド規模のリテール系協同組合においてNED（社外取締役）も務めている。

Tom Ricca-McCarthy
CEO
GetLucidity



GetLucidityを率いており、テクノロジー業界で35年以上の経験を有する。チームおよび事業の構築・リードに加え、成長戦略、事業再建（3倍成長のターンアラウンド実績）、国際ビジネス、戦略立案、人材・リーダーシップ分野において豊富な実績と経験を持つ。

Umesh Pandya
Design Lead
NESTA



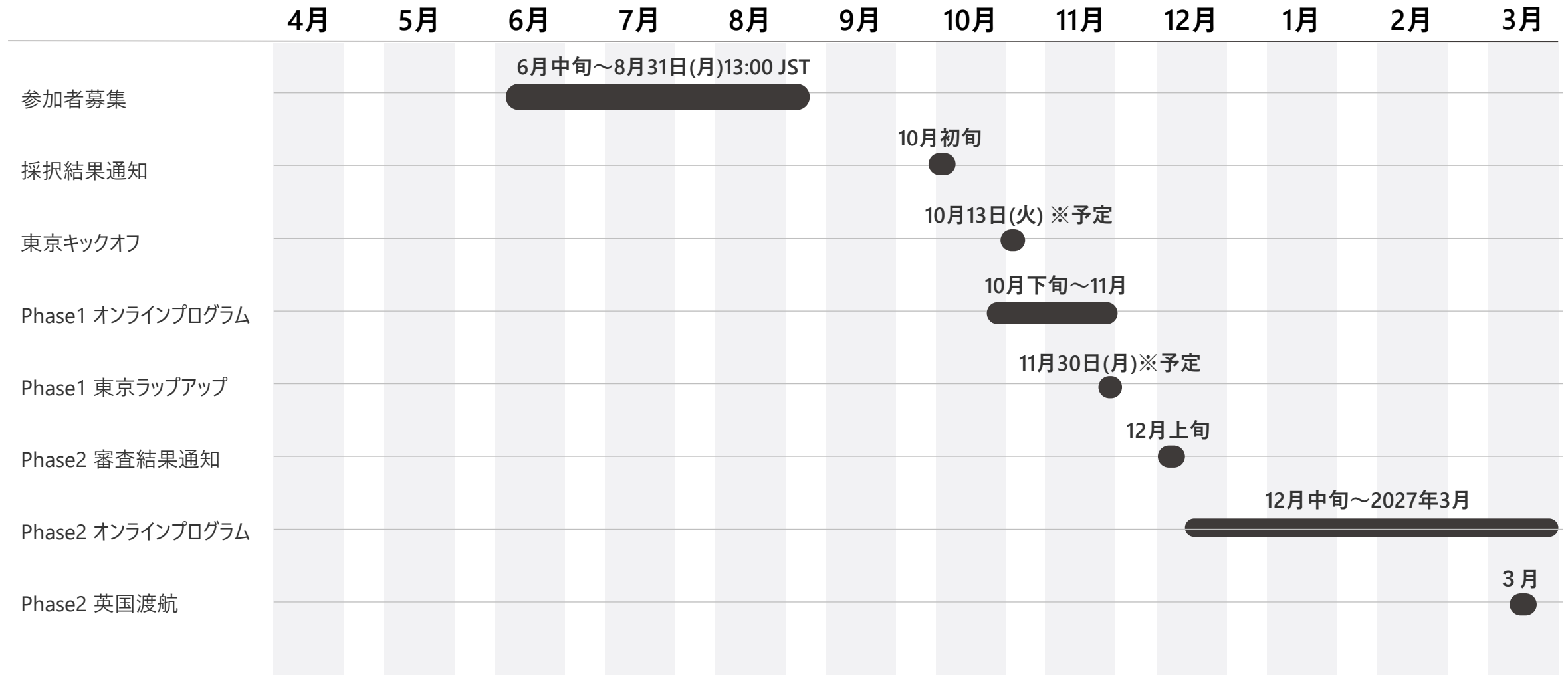
2017年以降、ソーシャルアントレプレナーおよびインパクト投資家と協働しており、「Social Venture Canvas」を設計した。また、2015年にはWayfindrを共同創業し、現在はNestaとも連携して活動している。

George Bevan
Product Design
Semble



デジタルデザイナーであり、テクノロジー業界で10年以上の経験を有する。これまでにプロダクトデザインリードおよびプロダクトマネージャーの両方の役割を担ってきた。

03 SCHEDULE | スケジュール



定員

- Phase1 : 10～15社
- Phase2 : 6～8社 (Phase1参加企業より選考)

主な対象

| | |
|-----------|--|
| 対象企業 | インパクト分野の日系スタートアップ |
| マイルストーン分類 | Scaler |
| ステージ | シリーズA・B |
| 分野 | プラネタリーウェルビーイング & サステナビリティ、ヒューマンウェルビーイング、ソーシャルウェルビーイングなど (詳細はP12を参照) |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> • 実証済みの技術または初期製品があること • 英国での事業展開や資金調達を検討していること • ビジネスレベル以上の英語力を有すること |

応募要件

プログラム参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- 日本に活動拠点のある日系スタートアップであること
- 全てのプログラム (現地渡航期間含む) に参加できること
- 意思決定権のあるCXOクラスが参加可能であること (投資家へのPR手法を学ぶため、ファウンダーの参加を強くお勧めします)。
- 実証済みの技術または初期製品があること
- 商談可能な英語力を有すること
- 参加後のアンケート等に協力すること
- 本プログラムが提供するサービス (オンラインセミナー等) に参加するための設備・環境を準備が可能であること

※本プログラムは経済産業省・ジェトロが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します。

プラネタリーウェルビーイング & サステナビリティ

地球規模で気候変動の緩和と生態系の劣化防止に尽力し、「プラネタリー・ウェルビーイング（地球規模の幸福）」の実現を目指すプロダクト。あらゆる産業における温室効果ガス（GHG）の排出削減から、エネルギーおよび資源システムの抜本的な転換までを網羅し、生命の根幹をなす要素である「大気・水・土壌」に焦点を当てるとともに、持続可能な食料システムや、喫緊の課題である人為的なプラスチック汚染への対策等も含む。

#CarbonNeutral #GX #GHG #RenewablePower #SmartGrid #BioMass #ReduceReuseRecycle #PlasticPollution #SustainableFood
#SmartAgriculture #Forestry #Fisheries #PlanetaryBoundaries #BioDiversity

ヒューマンウェルビーイング

クオリティ・オブ・ライフの向上、個性や多様性の尊重、帰属意識や社会的つながりの醸成に資するアイデアや技術から、健康寿命を延伸させる最先端のライフサイエンスやディープテック・ソリューションに至るまで、身体的、精神的、社会的、そして経済的なウェルビーイングに広く寄与するプロダクト。

#HealthTech #HealthCare #AgeTech #ElderCare #Longevity #Longevity #MedicalCare #DrugDiscovery
#RegenerativeMedicine #GeneTherapy #FinancialWellness #WealthBuilding #FinancialLiteracy

ソーシャルウェルビーイング

1. 個人のアイデンティティや多様な価値観を尊重し、場所や属性に縛られない自己実現を支援するプラットフォームのようなプロダクト
2. 人と人、あるいは人と社会の間に生まれる「安心感」や「つながり」といった主観的価値を、具体的な体験やシステムへと昇華させるプロダクト
3. 都市、コミュニティ、地方における物理的な安全性を高め、災害や社会不安に対して高い復元力（レジリエンス）を提供するプロダクト
4. 社会的孤立や機会の不平等を物理的・制度的な仕組みによって解消し、誰もが公平にリソースへアクセスできる環境を作るプロダクト

#SocialPrescribing #Accessibility #Communication #Loneliness&SocialIsolation #DE&I #Education&Skills #Work&Employment
#Resilience #Safety&Security #Mobility #UrbanPlatforms

参加者による費用負担

- 英国渡航費（航空券）、英国での宿泊費、移動費、飲食費、通信費、VISA代、保険料などのその他発生する一切の費用
- 国内移動費等
- その他「主催者ジェトロによる費用負担」以外のすべての費用

主催者ジェトロによる費用負担（現物支給）

- メンタリング等のプログラム料



※1 面談審査（オンライン）の日程は、必要に応じて、応募者へ後日連絡します。

※2 フェーズ2にかかる審査は、フェーズ1プログラム中に実施します。

選考基準

- JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※次ページに詳細
- メンターならびにジェットロがサポート可能であること
- 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- 技術主導であり、製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- バリュープロポジションが明確であること
- ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- 市場需要を証明するトラクションがあること
- 海外展開に適したチーム構成であること
- パートナーと連携・協力するための方法、条件が明確であること

選考基準：適切なコース選定

■プログラム選定の考え方

各プログラムでは、参加企業が最大限の成果を得られるよう、**事業ステージと目的に応じた適切なコース選定**を選考基準の一つとしています。

海外展開に向けた課題やニーズは企業ごとに異なるため、**自社が「今、何を達成したいのか」から逆算したコース選択**を推奨します。

主な参加目的例

- 海外市場におけるPMF検証
- Go-to-Market戦略の精緻化
- 初期トラクションの獲得
- 海外ネットワークの構築

目的が明確でないまま複数のプログラムに参加することは、時間やリソースの分散につながる可能性があります。スタートアップにとって最も重要なリソースである「時間」を有効に活用するため、コース選定の趣旨をご理解のうえご応募ください。

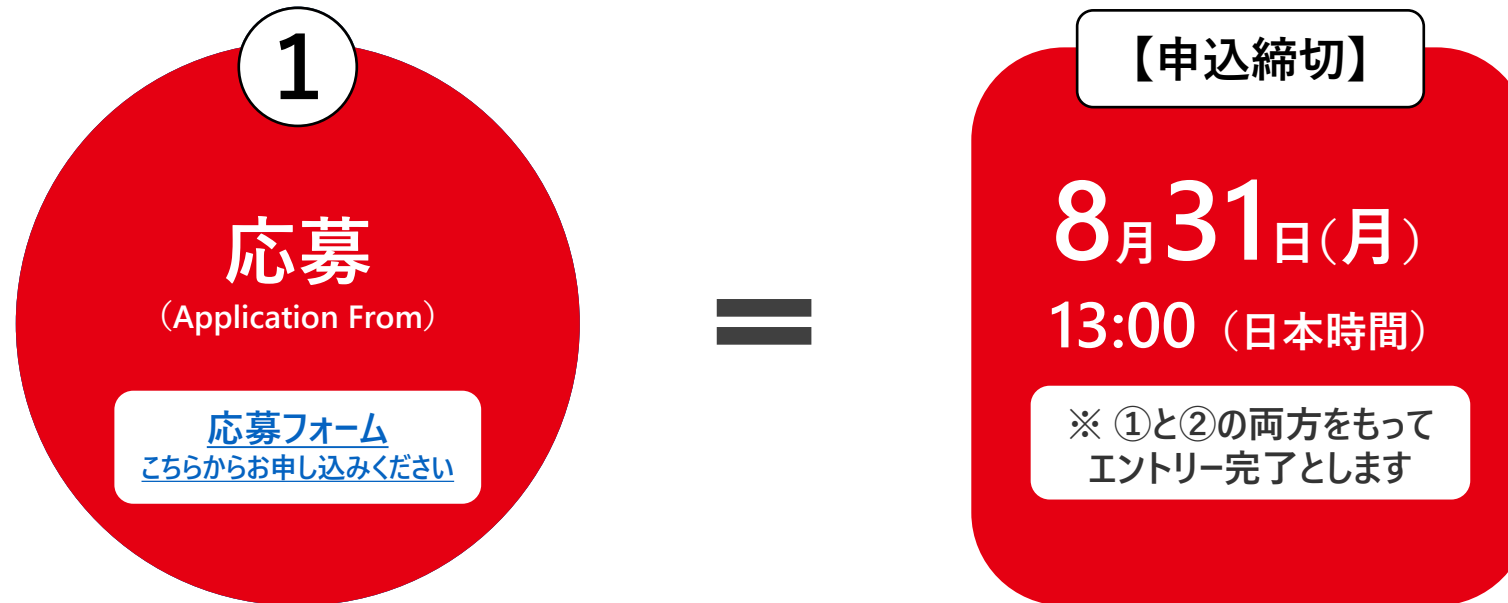
■ 応募前の相談推奨

JETRO Startupチームは、事業ステージや目指す方向性に応じた**最適なコース選定の相談**を受け付けています。

- 今年度、他のアクセラレーションプログラムに採択されている方
 - 適切なコース選択に迷っている方
- いずれの場合も、応募前にお気軽にご相談ください

| マイルストーンタイプ | 参加目的 | 参加条件想定 |
|---------------|---------------------------|------------------|
| Explorer(探索) | アイデア段階での方向性検証・市場理解 | MVP未満、海外展開意欲あり |
| Validator(検証) | PoC/MVP段階での市場検証・ユーザーヒアリング | プロダクトあり、仮説検証段階 |
| Scaler(成長) | 顧客・投資家獲得、海外展開実行 | プロダクト一定成熟、海外進出予定 |
| Connector(特化) | 投資家・パートナー連携重視 | 目的特化(資金調達、提携など) |

応募フォームを提出してエントリーしてください



※①の応募フォームではピッチ資料およびプレゼンテーション動画の提出もお願いしております。詳細はスライド17・18ページをご確認ください。

・審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください

英語ピッチデッキ資料作成・提出にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ 英語ピッチデッキ資料に記載する内容

以下の項目を必ず含めてください。

1. 解決したい課題 — 取り組もうとしている問題点
2. 提供するソリューション — 製品・サービス等
3. トラクションと収益（ある場合）
4. お申込者の経歴 — チームでの役割、職務経歴等
5. プログラム参加中に達成したいこと — 目標を3つ程度記載

■ 英語ピッチデッキ資料提出の留意点

- 左欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、10枚程度で作成ください
 - ※資料は**英語**でご作成ください
 - ※スライドのデザイン・フォーマットは問いません
- **ピッチ資料はURLに変換のうえ、申し込みフォームよりご提出ください**
(※アクセス権の付与をお願いいたします)

英語プレゼンテーションビデオ作成・提出にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ プレゼンテーションビデオ内容

- 動画は **3分以内** で作成することを強く推奨します。
- 使用言語は **英語** にてお願いいたします。
- あなた自身、会社、そして現在の状況について、エレベーターピッチのように簡潔に説明してください。
- 応募者が2名いる場合には、必ず2名ともがビデオ内で発言してください。

※スマートフォンで撮影した動画でも問題ありませんが、音声は明瞭であることをご確認ください。

※AI生成動画は審査の対象外となります。

■ プレゼンテーションビデオ作成の留意点

- **動画ファイルはYouTube限定公開URLに変換のうえ、申し込みフォームよりご提出ください**
(※アクセス権の付与をお願いいたします)

※ 応募フォームでの提出が難しい方は、IVD@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください。

※ メールのはじめの件名は「UK Impact_企業名_名前」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください
(名前の部分にはご自身の名前をご記載ください)

1. ジェトロが負担する現地滞在プログラム実施期間中の参加費用は原則1社あたり1名まで。
2. 意思決定権のあるCXOクラスの方の渡航をお願いします。
3. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにもメンターおよびジェトロ職員が同行して、帰国後の成果把握、進捗確認などへの協力をお願いします。
4. 本プログラムの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください。
(公開内容は事前に確認を行います)
5. 他のJETROプログラム（2026年度）への参加・応募を予定されている方は、JETRO担当者まで事前にご相談ください。

免責事項

[J-StarX利用規約・免責事項](#)を確認ならびに承諾の上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、同意書提出後のキャンセルは認められません

キャンセル料、もしくは変更料が発生した場合は参加企業／チームにて負担いただきます

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 UK Impact Accelerator Programme

実施機関 ジェトロ イノベーション部・スタートアップ課

担当者 近藤・小田

メール [J-StarXお問い合わせフォーム](#)

